

第53回

= 創立96年 =

貞香書展

2018.6.27(水)~7.9(月)

(7.3(火)は休館日)

国立新美術館 3A 港区六本木

10:00~18:00(入場は17:30まで) 最終日は15:00閉館(入場は14:30まで)
〈入場無料〉 ご高覧いただけると幸いです。

- ・ 講演会 6月30日(土) 11:00~12:30 国立新美術館講堂
〈講師〉：高橋利郎先生(大東文化大学教授)
〈演題〉：「近代日本の書」
聴講無料/定員200名(申込先着順) 申込先/貞香会事務所
- ・ 席上揮毫 7月9日(月) 13:00~14:00 (国立新美術館講堂)

主催・貞香会

会長 赤平泰処
理事長 中村青藍

後援・毎日新聞社

(一財)毎日書道会
(公社)全日本書道連盟

貞香会事務所

〒135-0007
東京都江東区新大橋
1-5-4-211 根本方
TEL 03(6284)0466
FAX 03(6284)0467

貞香会とは

貞香会は、大正12年（1923）に書文化の研究と、書芸術の創造を目指して中村素堂が創立し、今年で96年を迎えました。この間、北京・中国美術館（1999・2005年）、台北・国立歴史博物館（1991年）等での海外展も開催してまいりました。毎年、貞香書展・貞香会総合書展を開催し、また、毎日書道展、東方書展にも参画しております。

創設者

中村素堂（1901-1982）は、静岡県に生まれ、15歳で西川春洞の高弟・武田霞洞に師事しました。日本書道美術院、毎日書道展、東方書展の創設に参画し、書壇の再建に努めた近代日本を代表する書作家で、歌人でもあります。その書風は硬質の書を信条として、新文人主義、仏教を根底に置いた書を発表してまいりました。大正大学名誉教授で、武蔵大学をはじめ多くの教壇に立ち、後進の育成、書教育の普及にも邁進しました。また、生涯を通じて蒐集した古今の墨蹟・絵画・古写経をはじめとする系統だった書の研究資料は、後進の研究者のために一括して江戸東京博物館に収蔵されています。



第53回貞香書展入賞者

特別賞・審査会員推挙 平澤 大廣 倉石 芳園
 推薦・会員推挙 吉田 和蓉 草間 篁山 北村 亭弘 松浦 芳春 浦野 芽衣

公募1部

■特選

漢字多字数部門 新井 由香 青木 照美 柿沼 陽和

仮名部門 中川 秀雲

■準特選

漢字多字数部門 土屋 秀樹 江藤 静蘭 根本 江南 渡辺 蘇心 松本 芳琇
 中島 恭子

漢字少字数部門 鶴見 侑樹

仮名部門 今井 文子 志太 恵佳

■秀作

漢字多字数部門 有田 泉尚 飛田 静風 岩館 紅楓 鈴木 秀華 中谷 里菜
 成田 素旭 小堀 竹栖 上野 梨華 小山真裕美 岡 聖紅

峯岸 悦子 高柳有里沙 松下 彩虹

漢字少字数部門 川本 桃子 五喜田幽石 杉山 桃月

公募2部

■特選

漢字多字数部門 永井 雅

漢字少字数部門 中上 和美 林 玉凜 大塚那津子 仲井 照子

■準特選

漢字多字数部門 榎本 良子 石毛 香雲 大木 秀佳 松島 翠柳 壺井 尚子
 鈴木 彩香 曾根 信行

漢字少字数部門 村山 順子 小林 悟 長畑 裕子 木村 育代

仮名部門 ロゼノエル 朋子 佐々木 翠

■秀作

漢字多字数部門 伊藤 香風 小林 美子 毛利 佳峰

漢字少字数部門 長田 晴海 上杉 香莊 萩原 柊花 水上 千湖 田杭 聡子
 鈴木 翠鴻 村田 良苑 亀田 恵子 若生 瑞峰 佐藤 玄風

田口 和美 伊藤 美恵 阿部 梨花 佐藤 由紀 田中 峰堂

高田美佐江 酒井 貞子 金田万由美 小滝 洋一

仮名部門 猪瀬 貞櫻

詩文書部門 宮川万理子 仲野 好重

第53回貞香書展出品者

顧問

- 審 荒木 大樹〔東京〕 史記句
 審 中村 素岳〔埼玉〕 「静黙治道」

参与

- 審 大野 宜白〔埼玉〕 「鐵牛」
 中谷 春徑〔東京〕 和泉式部歌
 審 晝間 欽堂〔東京〕 「酒対一尊懷我友」
 松本 宜響〔栃木〕 「嘉賓」
 審 若井 香樹〔東京〕 井上靖詩

参事

- 柏木 南城〔東京〕 「心外無別法」
 加茂 泰玄〔栃木〕 「花心香」
 中村 大如〔東京〕 「六大無礙常瑜伽」
 審 中村 東泉〔千葉〕 孟浩然詩
 平林 大舒〔茨城〕 芭蕉句
 二木 秀蔭〔埼玉〕 明極楚俊詩
 審 山根 紅樹〔東京〕 蘇軾詩

会長

- 審 赤平 泰処〔東京〕 王慎修詩

理事長

中村 青藍〔埼玉〕 詩經小雅鶴鳴一節

副理事長

- 奥山 泰嶺〔埼玉〕 開經偈一句
 審 光谷 素仙〔神奈川〕 邵亨貞詩

事務局長

根本 泰邱〔千葉〕 「飄然橫碧空」

理事

- 飯野 彩心〔栃木〕 菜根譚一節
 審 今井 泰篁〔東京〕 儲嗣宗句
 後上 菁華〔埼玉〕 八言双聯
 審 小峰 紀州〔千葉〕 禅語
 鈴木 蓮徑〔栃木〕 「龍驤虎視」
 高木 素近〔東京〕 郊韶句
 高橋 珠翠〔東京〕 柳永詩
 審 坪内 雪山〔新潟〕 蘇東坡詩
 富田 青軒〔千葉〕 劉基詩
 中村 香柯〔埼玉〕 徐南復句
 三浦 看山〔神奈川〕 白居易詩

監事

- 杉戸 泰岳〔埼玉〕 韓翃詩
 審 長尾 泰邨〔青森〕 魏野詩

名誉会員

後藤 鶴台〔山形〕 「一華百億国」

審査会員

- 赤尾 真堂〔兵庫〕 孟浩然詩
 審 秋田谷岱空〔千葉〕 王士禎詩
 飯野 柳和〔埼玉〕 常建詩
 石原 翠山〔東京〕 沈佺期詩
 五野 雪香〔東京〕 ジョン・レノンのことば
 岩崎 芳穂〔茨城〕 吳文泰詩
 岩田 映洞〔埼玉〕 李白詩
 上野 泰僊〔埼玉〕 「風清引神」
 海野 蒼秀〔埼玉〕 蘇軾句
 大塚 澄心〔埼玉〕 劉國富田農詩
 大屋 泰穹〔青森〕 李白詩
 岡部 賀苑〔埼玉〕 七言二句
 沖 素宮〔埼玉〕 蘇軾句
 小澤 茜逕〔東京〕 杜甫詩
 加地 香泉〔東京〕 厲鶚詩
 審 亀和田郁芳〔栃木〕 「進徳修業」
 川北 澄月〔東京〕 良寛の歌
 審 川島 栖園〔埼玉〕 陶潜詩
 酒井 芳華〔岐阜〕 吳蘭雪詩
 真田 禧子〔埼玉〕 遍昭の歌
 清水 淡雲〔埼玉〕 梁清寛句
 末永 江春〔千葉〕 定家 寂蓮 西行の歌
 鈴木 大嘉〔新潟〕 「金剛」
 関野 松如〔東京〕 内田悟のことば
 津田 貞巖〔埼玉〕 七言二句
 永井 静軒〔埼玉〕 梅原猛のことば
 中田 翠苑〔千葉〕 劉廷琦詩
 中濱 瑞花〔埼玉〕 三好達治のことば
 中村 汀華〔埼玉〕 大宗句
 浜瀬 碧水〔東京〕 王維詩
 林 澄翠〔埼玉〕 李頎詩
 半田 桃香〔静岡〕 鄒炳泰句

	深井 汀苑	〔埼玉〕	五言律詩	渡邊 芳香	〔埼玉〕	宋之問詩
	藤田 彩緒	〔埼玉〕	菜根譚一節	委嘱		
審	細田 香瑤	〔千葉〕	陶淵明詩	阿部 匠	〔東京〕	李白詩
	真下 良祐	〔千葉〕	良平の歌	荒井 谿水	〔千葉〕	永福門院のうた
	三上 大岑	〔島根〕	「春蒔秋実」	池田 翠雨	〔千葉〕	実朝のうた
	三石 貞紅	〔茨城〕	源氏物語・奥の細道より	池田 紀子	〔栃木〕	賈至詩
審	光田 秀穂	〔埼玉〕	茨木のり子詩	市川 賀雪	〔青森〕	王維詩
審	室井 汀翠	〔埼玉〕	沈用濟詩	稲田 珪堂	〔群馬〕	李白詩
	森 小華	〔千葉〕	僧善住詩	浦野 芽衣	〔埼玉〕	細井平洲詩
	矢口 昌華	〔千葉〕	張説詩	江原 覺堂	〔東京〕	李白詩
	会員			大石 碧堂	〔静岡〕	王士禎詩
	石山 心茜	〔埼玉〕	韓愈詩	大島 翠玲	〔東京〕	張説詩
	伊藤 朱楊	〔東京〕	呉文泰詩	大堀 谿光	〔千葉〕	王維詩
	岩渕 響泉	〔栃木〕	風度蟬聲遠	及川 佩玉	〔千葉〕	相模の歌
	上坂 木蘭	〔東京〕	王維詩	恩田 澄光	〔東京〕	陶淵明詩
	海老原綵翎	〔東京〕	良寛の歌	北井 杏怜	〔東京〕	王勃詩
	大恵田萌音	〔千葉〕	何紹基詩	北村 亭弘	〔埼玉〕	皎然詩
	小野 淨徑	〔東京〕	蘇頲詩	草間 篁山	〔新潟〕	岑參詩
	川嶋 芳岳	〔千葉〕	五言絶句	越川 淑泉	〔千葉〕	張説詩
	倉石 芳園	〔埼玉〕	王維詩	佐藤 龍生	〔東京〕	杜牧詩
	近藤 朗詠	〔埼玉〕	錢秉鐙詩	清水 天悠	〔栃木〕	阿彌陀經一節
	佐伯 麗子	〔東京〕	佐伯静子の歌	菅谷 虹泉	〔千葉〕	杜甫詩
	佐藤 泰石	〔福岡〕	杜甫詩	鈴木 英男	〔栃木〕	李商隱詩
	佐怒賀昌琴	〔埼玉〕	自詠句	鈴木 葉香	〔千葉〕	張説詩
	下川 翠雨	〔東京〕	陳師道詩	関口 恵子	〔群馬〕	李邕詩
	白根 如雪	〔東京〕	中原中也の詩	関根 熙雲	〔群馬〕	五言詩
	鈴木 芳草	〔埼玉〕	白楽天詩	高橋久美子	〔埼玉〕	元好問詩
	鈴木 玲香	〔千葉〕	岑參詩	塚山 清峰	〔埼玉〕	王維詩
	武内 陽華	〔埼玉〕	陶淵明詩	津田 雅代	〔東京〕	王維詩
	津村 佳園	〔東京〕	陸游詩	中村 吟有	〔千葉〕	和歌三首
	富田 希	〔長崎〕	盧照隣詩	根布谷順子	〔東京〕	杜甫詩
	長尾 貫清	〔青森〕	無量寿經一節	根本 柏暢	〔東京〕	王士禎詩
	日向野光苑	〔千葉〕	大納言経信の歌	野村 佳鈴	〔千葉〕	沈佺期詩
	平澤 大廣	〔栃木〕	李白詩	橋本 竹泉	〔栃木〕	「勢不可使盡」
	藤井 泉桜	〔千葉〕	曹操詩	原田 豊蘭	〔東京〕	村山巨のことば
	松田 翠心	〔東京〕	臨 深窓秘抄一節	保坂 登志	〔栃木〕	七言二句
	緑川 杏泉	〔千葉〕	李白詩	堀越 紅蓼	〔茨城〕	万葉集より
	山崎 香彩	〔埼玉〕	王禕詩	益本 雪華	〔東京〕	益本恒夫の句
	横張 瑞泉	〔茨城〕	陳萇詩	松浦 芳春	〔千葉〕	王維詩
	渡辺 蒼秀	〔神奈川〕	白居易詩	村木 香風	〔東京〕	サトウハチロー詩

室井 佳鶴〔千葉〕 藤原良平の歌
 室田 彩翠〔東京〕 「私の空」自作
 吉田 和蓉〔東京〕 王維詩
 和田 芳華〔栃木〕 盧照隣詩
 渡辺 桃舟〔静岡〕 陳与義詩
 渡辺 萌苑〔東京〕 李白詩一節
会友
 青木 照美〔東京〕 杜甫詩
 新井 由香〔埼玉〕 杜甫詩
 有田 泉尚〔千葉〕 王維詩
 伊藤 泉映〔千葉〕 陸游詩
 今井 文子〔栃木〕 臨 友則集一節
 岩館 紅楓〔千葉〕 蘇舜欽詩
 江藤 静蘭〔東京〕 杜甫詩
 大芦 卿雲〔埼玉〕 王昌齡詩
 川原 幽香〔千葉〕 水辺二首
 向後 佳溪〔千葉〕 杜審言詩
 五喜田幽石〔千葉〕 虚堂録語
 小堀 竹栖〔東京〕 菜根譚一節
 坂本 友香〔東京〕 王維詩
 塩野 洋子〔栃木〕 五言二句
 志太 恵佳〔千葉〕 恋六首
 篠原 翠峰〔東京〕 蘇東坡詩一節
 鈴木 秀華〔東京〕 菜根譚一節
 田辺 由美〔神奈川〕 劉禹錫詩
 中川 秀雲〔千葉〕 伊勢の歌
 飛田 静風〔千葉〕 綦母潜詩
 藤沼 芳碧〔埼玉〕 王士禎詩
 松下 彩虹〔東京〕 蘇東坡詩
 渡辺 蘇心〔山梨〕 臨 鄧石如書白氏草堂記

公募一部出品者

浅野 照雄〔東京〕 草場佩川詩
 芦刈 凌〔千葉〕 孟浩然詩
 池ヶ谷千恵〔静岡〕 杜甫詩
 上野 梨華〔埼玉〕 菅原文時詩
 岡 聖紅〔東京〕 陶淵明詩
 小山真裕美〔埼玉〕 杜甫詩
 柿沼 陽和〔埼玉〕 夏目漱石詩
 川本 桃子〔栃木〕 李頎句

佐久間琴弓〔東京〕 雨に唄えばより
 佐藤 史帆〔静岡〕 魏野詩
 沢田 可祝〔東京〕 王維詩
 杉山 貞馨〔茨城〕 李白詩
 杉山 桃月〔静岡〕 黄山谷句
 高柳有里沙〔神奈川〕 杜甫詩
 土屋 秀樹〔千葉〕 皇甫冉詩
 鶴見 侑樹〔栃木〕 「氣蘊風雲」
 出口 哲〔東京〕 武田信玄詩
 中島 恭子〔静岡〕 陳子昂詩
 中谷 里菜〔茨城〕 陳子昂詩
 成田 素旭〔埼玉〕 張敬詩
 根本 江南〔千葉〕 王安石詩
 橋本 和奏〔東京〕 王安石詩
 邊見 順子〔埼玉〕 千字文一節
 松野 澄水〔東京〕 李白詩
 松本 芳琇〔埼玉〕 菅茶山詩
 峯岸 悦子〔東京〕 宋之問詩
 宮村輝陽子〔東京〕 杜甫詩

公募二部出品者

阿部 梨花〔埼玉〕 鄭守仁句
 飯田 清美〔神奈川〕 楊萬里句
 石毛 香雲〔千葉〕 司馬光詩
 市村 星華〔栃木〕 毛宗文句
 伊藤 香風〔千葉〕 劉攽詩
 伊藤 美恵〔東京〕 岑安卿詩
 猪瀬 貞櫻〔茨城〕 和歌二首
 上杉 香荘〔東京〕 館柳灣句
 牛村ひろみ〔東京〕 「拈華微笑」
 榎本 良子〔東京〕 陳祐詩
 大木 秀佳〔埼玉〕 祖詠詩
 大竹 空翠〔千葉〕 袁宏道詩
 大塚那津子〔栃木〕 白樂天句
 小野 茜雲〔埼玉〕 白居易詩
 加藤絵美子〔東京〕 虞集句
 加藤 尚武〔東京〕 「山光澄我心」
 金田万由美〔東京〕 王之渙詩
 亀田 恵子〔東京〕 鄒炳泰詩
 菊地 孝男〔栃木〕 臨 草書千字文一節

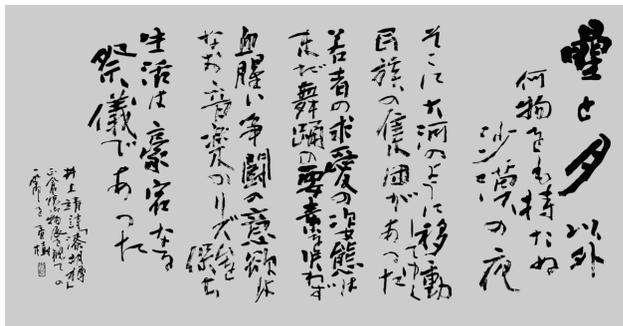
木村 育代〔千葉〕	朱熹詩	原 美鈴〔神奈川〕	「流水能清物外心」
木村 紅祥〔茨城〕	「和致芳」	深谷 節子〔茨城〕	王昌齡詩
国貞 史絵〔東京〕	「心如水」	星 文子〔東京〕	韋莊詩
黒澤はるか〔埼玉〕	杜甫詩	前川 清翠〔東京〕	鄭韶詩
小池 紫翠〔埼玉〕	白居易詩	前原 英子〔東京〕	夏目漱石 草枕
小泉 直子〔神奈川〕	杜荀鶴句	松島 翠柳〔千葉〕	常建詩
小滝 洋一〔栃木〕	「卧聞疎響梧桐雨」	水上 千湖〔栃木〕	王彦泓詩
後藤久美恵〔神奈川〕	「壽福瑞祥」	水須 涼華〔千葉〕	趙孟頫詩
小林 悟〔静岡〕	精霊回向結願文一節	宮川万理子〔東京〕	中原中也の詩一節
小林 美子〔東京〕	白楽天詩	村田 良苑〔千葉〕	仇遠語
酒井 貞子〔東京〕	「龍神」	村山 順子〔埼玉〕	李白詩
坂寄 幸枝〔栃木〕	「涼気颯然来」	毛利 佳峰〔千葉〕	歐陽修詩
佐々木 翠〔北海道〕	蟬丸の歌	本宮 俊子〔千葉〕	葉茵詩
佐藤 玄風〔千葉〕	趙執信詩	山口 秋草〔東京〕	「雲遊」
佐藤 由紀〔埼玉〕	陸游詩	山本 惠翠〔千葉〕	文徵明詩
鈴木 彩香〔千葉〕	王周詩	山本 幸三〔東京〕	若山牧水の歌
鈴木 翠鴻〔千葉〕	成延珪詩	吉岡 紀子〔神奈川〕	「任重而道遠」
曾根 信行〔静岡〕	杜甫詩	吉田 光陽〔栃木〕	西郷隆盛句
高田美佐江〔東京〕	禪語	ロビソリス 朋子〔東京〕	臨 香紙切一節
高橋英美子〔東京〕	「景雲飛」	若梅 照華〔千葉〕	裴迪語
田杭 聡子〔千葉〕	施肩吾詩	若生 瑞峰〔千葉〕	柳宗元詩
田口 和美〔静岡〕	賈島詩	渡邊千恵子〔千葉〕	孟浩然詩
武井 幸子〔東京〕	芭蕉の句		
田中 峰堂〔東京〕	孫逖詩		
田邊沙那美〔神奈川〕	王安石句		
壺井 尚子〔東京〕	臨 蘭亭序一節		
仲井 照子〔東京〕	陸放翁句		
永井 雅〔千葉〕	司馬光詩		
中上 和美〔東京〕	江總詩		
永田 盛英〔埼玉〕	崔致遠句		
長田 晴海〔東京〕	杜甫句		
仲野 好重〔東京〕	勝海舟のことば		
長畑 裕子〔東京〕	韋莊句		
長畑 美成〔東京〕	「江湖秋水多」		
野口佐和子〔東京〕	「読書以自娛」		
萩原 柊花〔千葉〕	劉禹錫詩		
長谷川千枝子〔東京〕	李白詩		
林 玉凜〔東京〕	陸游詩		
林 玲子〔埼玉〕	高翥詩		



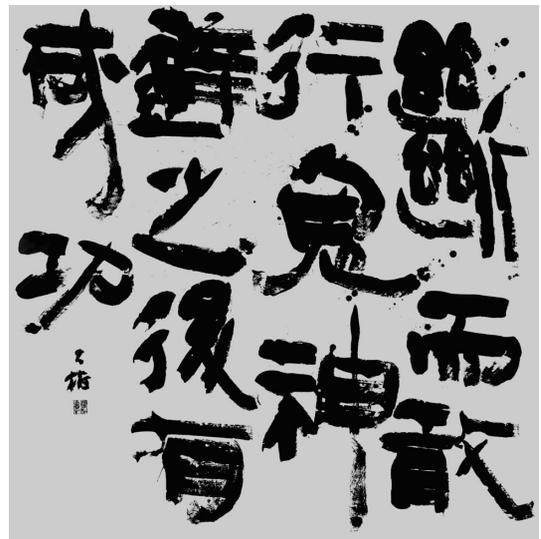
顧問 中村素岳



会長 赤平泰処



参与 若井香樹



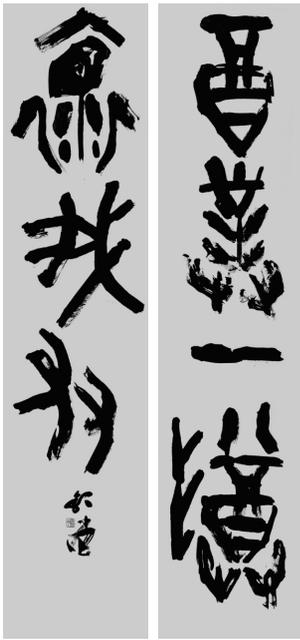
顧問 荒木大樹



理事長 中村青藍



副理事長 奥山泰嶺



参与 晝間欽堂



参与 大野宜白



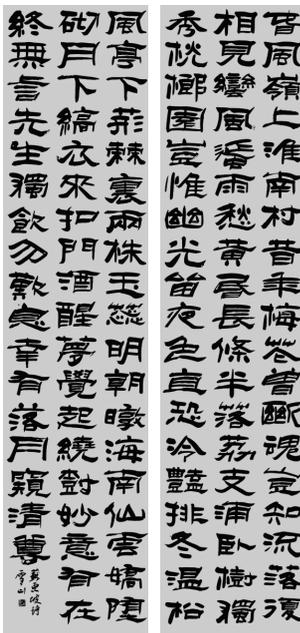
副理事長 光谷素仙



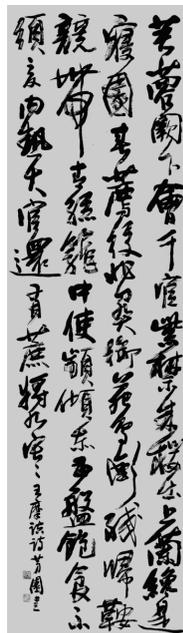
参与 松本宜響



理事 鈴木蓮徑



理事 坪内雪山



特別賞・審査会員推挙
倉石芳園



特別賞・審査会員推挙
平澤大廣

貞香書展

- ◆貞香書展は、会員展と公募展で構成されています。
- ◆公募部門には、年齢満15歳（高校生）以上の方どなたでも第1部・第2部どちらかに出品することができます。
- ◆作品の大きさで第1部・第2部に分かれ、それぞれに、漢字多字数部門（21文字以上）・漢字少字数部門（1～20文字）・仮名部門・詩文書部門があります。
- ◆作品の表装など取扱の全般を指定表具店に依頼しています。



貞香会総合書展

- ◆貞香会総合書展は、会員展と公募「書範展」で構成されています。
- ◆公募「書範展」にはどなたでも出品できます。◇一般部：高校生以上、1人1点 ◇教育部：幼児・小学生・中学生、1人1点 ◇半紙部：どなたでも何点でも
- ◆出品料は次の通りです。◇一般部：14,000円（大学生12,000円・高校生10,000円）※標準軸装代含む ◇教育部：3,000円（※仮巻ベタ貼り表装代含む）◇半紙部：600円（※裏打ち代含む）
- ◆'19貞香会総合書展公募「書範展」の作品締め切りは、平成30年11月22日(木)です。
- ◆作品の表装など取扱の全般は、東京書範社書範展係が行います。

洗碑会

創設者・中村素堂生誕日の5月2日に東京小石川・伝通院にある中村素堂記念碑(「如是我聞」碑)前で催される先師の遺徳を讃える会です。全国から子弟・関係者が集まり、碑文の前に書作への思いを新たにします。記念碑は、開門時間中はいつでも拝観できますので、お近くにおいでの際はお気軽にお立ち寄りください。

(伝通院 URL：<http://www.denzuin.or.jp>)



講演会

貞香会では貞香書展の会期中に講演会を開催しています。2018年は、大東文化大学教授の高橋利郎先生をお招きして、「近代日本の書」という演題でご講演いただきます。



近年の講演会開催実績（※講師の先生方の所属等は講演当時のものです）

- 2017年 笠嶋忠幸先生(出光美術館学芸課長)「古典鑑賞と書作」
- 2016年 鍋島稲子先生(台東区立書道博物館主任研究員)
「中村不折と書道博物館コレクション」
- 2015年 大西克也先生(東京大学教授)「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」
- 2014年 富田淳先生(東京国立博物館学芸研究部列品管理課長)
「書譜と黄州寒食詩巻－台北故宮博物院の名跡から－」
- 2013年 名児耶明先生(五島美術館学芸部長・東京学芸大学非常勤講師)
「仮名の散らし書きと日本美」
- 2012年 伊藤滋先生(東京学芸大学非常勤講師・岐阜女子大学特別客員教授)
「日本に所蔵される名帖～碑法帖拓本の世界～」
- 2011年 島谷弘幸先生(東京国立博物館副館長)「書の変遷 その必然性と未来」
- 2010年 杉村邦彦先生(京都教育大学名誉教授・書論研究会会長)
「多胡碑の朝鮮・中国への流伝とそれにかかわった人たち」
- 2009年 松丸道雄先生(東京大学名誉教授)
「漢字研究の最前線－新石器時代から楷書成立まで」
- 2008年 松井茂陽先生(株式会社墨運堂顧問)「墨の不思議」

競書誌『書範』

- ◆貞香会の競書誌で毎月1日に発行されています。創設者中村素堂先生の随筆や、貞香会関係の展覧会情報などが掲載されています。ぜひご一読ください。
- ◆詳細については、東京書範社事務局までお問い合わせ下さい。

〒346-0005 埼玉県久喜市本町6-8-18

TEL：0480-21-2443



展覧会のご案内

平成30年(2018)

○第70回 毎日書道展(東京展)

会場：国立新美術館 会期：7月11日(水)～8月5日(日)※火曜休館、水曜午後1時開会

会場：東京都美術館 会期：7月19日(木)～7月25日(水)

○光谷素仙書展 一古希記念展一

会場：東京銀座画廊7階 会期：10月2日(火)～7日(日)

○第32回 西蓮会書展

会場：銀座かねまつホール 会期：10月12日(金)～16日(火)11:00～19:00

○第49回 墨光書展

会場：春日部市民文化会館 会期：10月17日(水)～21日(日)10:00～18:00

○第2回 素心会書展

会場：東京銀座画廊8階・C室 会期：10月23日(火)～28日(日)

○第67回 大正大学全国書道展

会場：大正大学巣鴨キャンパス内 会期：11月3日(土)・4日(日)

URL：<http://www.zenkokuten.com/>

平成31年(2019)

○'19貞香会総合書展 会員展・書範展

会場：東京都美術館 会期：1月20日(日)～1月26日(土)

書範展にはどなたでも出品できます。詳細は8頁をご覧ください。

本日は第53回貞香書展にご多用中にもかかわらずご光来賜りご懇情をいただき誠にありがとうございました。皆さまのお言葉を励みに会員一同書の道に精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、御礼とさせていただきます。

平成30年6月27日
第53回貞香書展出品者一同